

こんにちは 森林官です!

胆振東部森林管理署 糸井森林事務所
森林官
(糸井担当区)
阿部 博之



胆振東部森林管理署糸井森林事務所は、苫小牧市に所在し太平洋に注ぐ苫小牧川、小糸魚川、錦多峰川の上流部、樽前山麓東側の国有林約9,000haを管理しております。

苫小牧市は、人口173,227人(平成28年9月末)で全道5番目の都市であり、内航取扱貨物量が日本一の苫小牧港や新千歳空港が近く、観光・物流のアクセスは非常に良好であり、気候についても温暖、少雪でとても過ごしやすい都市です。



苫小牧市錦岡から見た樽前山

そして、活火山である樽前山を含む支笏洞爺国立公園や、日本初のパードサンクチュアリに指定

され、国の鳥獣保護区やラムサール条約登録湿地にも指定されているウトナイ湖があるなど、都市近郊に希少な自然が残されている素晴らしい地域です。



ウトナイ湖のハクチョウ

樽前山は、明治42年(1909年)の噴火によってその頂上火口内に典型的な溶岩円頂丘(ドーム)が生成されたことで世界的に有名になった三重式火山で、そのドームは北海道指定の天然記念物に指定されており、学術的にも非常に貴重なものです。昭和49年頃から地震が増加し、昭和53年に小噴火等が見られましたが、その後10年以上静穏な状態が続きました。平成8年から再び地震

活動が活発化し現在も小規模に活動が続いています。

糸井森林事務所の業務としては、日々の林野巡視(森林パトロール)の他に、植え付けや下刈りなどの造林事業や立木販売の監督業務を主として実行しています。



秋の口無沼

また、当森林事務所部内には、丸山遠見望楼や口無沼などの観光スポットがあり、そこへ向かう林道については、狩猟期間を除き林道ゲートを開放していることから、一般の入林者が多く林野巡視はとても重要な業務の一つになっています。



丸山遠見望楼

昭和29年の洞爺丸台風及び、平成16年の18号台風では大規模な風倒被害を受けたところですが、昨年の23号台風でも大規模な風倒被害を受け、現在、買い受け業者により処理作業が行われているところですが、



平成27年の風倒被害地

昨年の23号台風による風倒被害箇所については、今後本署職員と協力し、長期的な視点から風害を軽減する森林づくりを目指し、復旧に努めたいと思います。